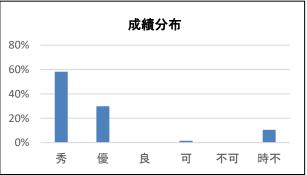
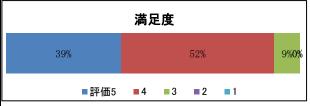
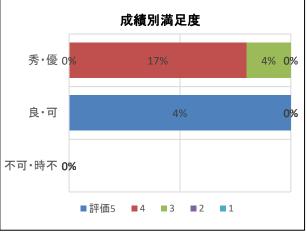
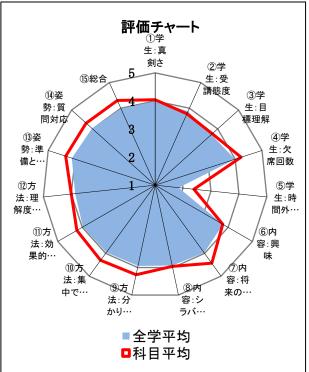
講義名	j	道徳羲	道徳教育の理論と実践									前期		受講者数		67人	
担当教員名	大介							2単位	立 回名		答率		34%				
分野別平均値	受講態度		授業内容		授業方法		教員姿勢		満足度		GPCA	単位授与率		時不率		平均出席率	
統計データ (±:標準誤差)	2.8(=	±0.2)	4.1(±0.1)		4.2(±0.1)		4.3(±0.1)		4.3(±0.1)		3. 6	89. 6%		10. 4%		86. 2%	
(全学平均)	2. 7		3. 9		3. 9		4. 1		4.0		2. 4	84. 5%		9. 7%		77. 6%	
			5 非常に	4	3 どちら いち	2	1 全 く 思	平均 上段:		80%		Д	龙績分 [。]	布			











F. 授業全体の満足度の理由を記述してください。

- ・先生が分かりやすく授業をしてくれた。
- 普通だったため。
- なし
- グループで協力できた
- ・梅本先生の授業は興味深くて好きなのですが、公欠とはいえあまり出席できなかったので、学びきれていない部分があると思うか
- レジュメや資料が効果的であったから。
- ・道徳は誰にでもできるようにならないといけないので、とても分かりやすかったし理解できたから。
- すごく有意義でした
- ・実際に指導案を作成するのがたいへんでしたが、いい経験になりました。
- とても良かった。
- ・指導案の作り方を知ることができた。
- やっていた内容のレベルが高すぎた。
- ・いそがしいのは分かるが最初の頃、遅刻が多かった。説明をする班としない班があるのは困る。先輩の言うことが全て正しいとい われると自分たちの意図することと違うとは言えない。グループリーダーに加点していては他にそれ以上に頑張った人がいても評価 されない。
- 教員になったときへの準備ができた。
- ・説明が足りない。どうやったら良いのか分からない。
- ・将来の為になる授業だった。
- ・後半は指導案作成が大変だから。
- ・他のコースや学年の人とも関われたため。上級生の意見はとてもためになった。
- ・道徳教育について考えるきっかけになった。
- ・内容がちょっと難しいなと感じた。どこをやっているのかわからない時がよくあった。 ・自分たちで作った指導案を発表し、評価してもらうという機会はなかなかないと思うので、評価される・する、両方できて満足した。道徳の授業を将来行うと考えると、不安であったが、道徳の時間について知ることができて、理解できたので、満足。
- ・パワーポイントを毎回作ってくださって見やすくてよかった。説明も丁寧だった。
- ・難しい内容の道徳を分かりやすく知ることができたから。
- ・梅本先生の進行が上手い。お陰様で思ったことを発言しやすい良い雰囲気が保たれていた。生徒がほぼ全員参加できていたと思 う。グループワークを通じて話をした事がない人と交流が持てた。自分が先生になった時に梅本先生の授業をお手本にさせて頂きた い。

G. この授業の改善するべき点や良かった点を記述してください。

- ・発表がグループだから、どうしても負担が偏っているように見えた。後輩が心配だった。個人にした方がよいと思った。
- ・指導案についてもっと授業を増やしてほしい。
- ・なし
- ・授業の作り方を少しは理解できてよかった。
- ・自分の考えや感情だけではなく、生徒の考えなども理解しながら授業を進めているところがすごく良いと思う。授業内容だけでな く、人間的な部分でも学べることが多い授業だった。
- ・説明がわかりやすくて良かった。
- 特になし。
- ・わかりにくかった
- ・資料の準備期間が短くて大変だった。
- ・指導案の例を増やしてほしいと思う。
- ・班決めは機械的に処理した方があとくされがなかったかなと思った。
- ・もうちょっとわかりやすく説明してほしかった。
- ・指導案を作成する経験ができてよかった。グループ活動となると、グループ内でやる人・やらない人が出てしまうグループも出て くるため、教員の指導でグループ内みんながやる人になれるよう改善できるとよいと思った。 特にありません。
- ・グループが必ず発言する為、全員集中しないといけない部分が良かった。3・4年生の発言を更に増やすべきだと思った。3・4 年生もグループになって1・2年生の意見をどう思うかを話し合うべきだ。